

### 第3回紀の川市立学校適正規模適正配置検討委員会会議録

日時：令和3年3月12日（金）

19：00～19：34

場所：紀の川市役所5階 501会議室

#### ◎開会

○事務局 時間となりましたので、始めたいと思います。

皆さん、こんばんは。

昼間お疲れのところ、第3回紀の川市立学校適正規模適正配置検討委員会にご出席いただき誠にありがとうございます。

今回、日程やアンケートの調整に時間がかかり、開催通知等が遅れたことをまずはお詫びいたします。申し訳ございませんでした。

はじめに、教育委員会の附属機関の組織及び運営に関する基準を定める規則第4条第2項の規定により、過半数の委員の出席をいただいておりますので、この会が成立していることをご報告いたします。

それでは、第3回紀の川市立学校適正規模適正配置検討委員会を開催いたします。

A委員につきましては所用のため欠席のご報告をいただいております。

本日使用する資料は既にお配りしております資料、第2回紀の川市立学校適正規模適正配置検討委員会会議録、次に、学校のあり方に関するアンケートについてということで2つ資料をお送りしていますが、皆さんお持ちでしょうか。

それでは、次第に沿って進めたいと思います。

---

#### ◎会長あいさつ

○事務局 まず始めに、会長からご挨拶申し上げます。

○会長 改めまして皆さん、こんばんは。

昼間お仕事お忙しいのに夜にまでお出でくださいまして感謝しております。

今こうやってコロナウイルスの問題がありますけれども、ちょっと話は逸れますが、紀の川市教育委員会が所管しております紀の川市少年少女発明クラブという事業がありまして、そちらのほうもお世話させていただいているのですが、12回やるうち役所とそれから指導員の非常に細心な注意によりまして、残念ながら6回ですが実施して明日閉校式をむかえることができました。

これからもコロナ対策は大変ですが、十分な対策を講じながら色々なことを進めていけたらと思っております。

ここに来る前に前回の議事録をひと通り読んできたのですが、委員の皆様方非常に前向きに積極的なご意見をご発言いただきまして安心しております。今日もよろしくお願い申し上げます。

挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○事務局 ありがとうございます。

ここからは、会長により進行をお願いしたいと思います。

会長よろしくお願いいたします。

---

## ◎第2回紀の川市立学校適正規模適正配置検討委員会会議録について

○会長 では、今日も効率のよい会議になりますようにご協力いただくようお願い申し上げます。

では、次第に沿いまして進めさせていただきます。

まず、議題(1)第2回紀の川市立学校適正規模適正配置検討委員会会議録について事務局のほうから説明をいただきます。

お願いします。

○事務局 まず、会議録についてですが、本日の会議案内、アンケートと一緒に会議録をお送りしております。

事務局には委員の皆様から会議録についてのご意見等はいただいておりますが、修正とかご意見など何かございましたらこの場でお願いしたいと思います。

簡単ですが、以上となります。

○会長 見ていただいておりますが、特に疑義等ございますか。よろしいですか。

(発言するものなし)

○会長 そうでしたら、この議事録につきましてはお認めいただいたということで進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

---

## ◎「学校のあり方に関するアンケート調査」(保護者用・市民用)について

○会長 では次、議題の(2)です。「学校のあり方に関するアンケート調査」(保護者用・市民用)について事務局のほうから説明していただきます。

お願いします。

これも既にお手元にお渡ししてあるということです。よろしくお願いします。

○事務局　それでは、「学校のあり方に関するアンケート調査」についてご説明をさせていただきます。

先般、委員の皆様方にこのアンケート調査をお送りしまして内容についてご確認いただき、ご意見をいただきました。そのご意見と前回の検討委員会でいただきましたご意見をまとめて、本日資料としてお配りしております。

なお、前回いただきましたご意見で既に修正しているものについては、この資料には記載しておりません。

それでは、アンケートと資料を併せてご覧ください。

まず、資料の①番が保護者用と市民用共通の設問で、2 ページ目の【問 2】でお答えになっている方の性別をお伺いするものですが、3 番の「どちらでもない」という選択肢に対し、「意味が不明である」というご意見と「選択肢に入れる必要がないと思います」というご意見をいただいております。

このご意見についてですが、このアンケート（案）を作成するにあたり、人権施策を担当する企画部人権施策推進課に確認をしましたところ、今の「性の多様化やジェンダーフリー」の観点からアンケートを実施する場合には、生物学的な男女とは別に「どちらでもない」というこの選択肢を入れるのが一般的になってきているとのことでありましたので、このまま選択肢を残させていただければと考えております。

次に、②市民用の 2 ページ目の【問 4】でございます。

中学生以下の同居のお子さまはいらっしゃいますかという設問ですが、「同居のお子さまという部分を家族にするのはどうか」というご意見をいただいております。

これにつきましては、前回の委員会で同居とか別居の区別が分かりにくいというご意見いただいていたこともありまして、このような表記をさせていただいたところですが、そこに書いておりますとおり、事務局の修正案として「同居の家族（孫含む）」というふうにしたいと考えております。

続きまして、一番下の③でございます。

市民用 6 ページ目の【問 17】、将来学校の再編を検討していく際に、特に重要と考えることは何かという設問でございます。

その選択肢として、2 番で「密な説明会対応」という表現があるのですが、その表現が分かりにくく、文章的にもおかしいのではないかとご意見をいただいております。

確かに分かりにくいということもございますので、修正案としまして、「地域との関係に配慮し、説明会を開催して丁寧に対応すること」というふうに修正を考えてございます。

続きまして、裏面をご覧ください。

この裏面につきましては、前回の委員会でいただきましたご質問をまとめたものとなります。

④をご覧くださいますと、アンケートでお答えいただいている方のご職業を聞くかどうかということでございまして、事務局で検討しましたところ、分析を行うにあたって、職業別に考えをまとめる必要性は低いと思われること、また設問を少しでも減らして答えていただきやすくしたいということもございまして、今回はこの職業は聞かないということにしたいと考えてございます。

続きまして⑤ですが、前回の会議の中でもお答えをしていますが、小規模校の定義です。こちらを1学年1学級の学校を小規模校と定義したいと考えてございます。

続きまして⑥についてですが、アンケートの対象者に教職員や小学校の高学年児童、中学生を追加して、当事者となる方の意見を聞いてはどうかというご意見がございました。

これを検討しましたところ、この検討委員会でも校長会を代表して二人の委員さんに来ていただいていることもございますので、この校長会を通じて教職員の方には周知を行うとともに、意見の調整等図ってまいりたいと考えております。また、高学年児童と中学生につきましては、今回大人だけでも約5,500名の対象とした大規模な調査となることもありますので、今回は対象外としたいと考えております。

最後に⑦番ですが、こちらは前回の委員会でもお答えしておりますが、中学生の保護者の方が対象となっていないということについては、今回保護者の枠ということではありませんが、市民さんの枠でその方々も入ることもありますので、そちらのほうでご意見は伺えるものと考えております。

今ご説明させていただいた中で、表面の②番と③番で修正案を提示させていただいておりますことと、他の件についても結構なのですが、この場でご意見等いただければと思います。

説明は以上となります。よろしく申し上げます。

○会長 ありがとうございます。

ただ今事務局からアンケートについての説明、それから皆様方からいただきましたご意見を反映させて作成し直したという説明です。

この件につきましてご指摘いただいた委員の方から何かご意見いかがでしょうか。

(発言するものなし)

○会長 そうしましたら、それ以外にお気づきの点がありましたらご発言いただきたいと思います。

お願いします。

○B委員 アンケートについて意見述べられなくて申し訳なかったのですが、保護者用・市民用とも、「○」はいくつでも良いとあるのですが、全てが考え方によっては正しいように感じるんです。そこでね、重点項目2つか3つに絞って回答したほうが良いような感じがします。

というのは、有効活用の方法が、焦点がたくさんばらけてしまって絞りにくいと思うんです。やはり、重点項目2つか3つに絞ったほうが、アンケートを集計するうえでも、う

まくいくのではないかという感じはします。

以上です。

○会長 ありがとうございます。

事務局いかがでしょうか。

○事務局 ご意見ありがとうございます。

この選択肢が9個とか10個とかあるので絞りにくいってということでしょうか？

○B委員 絞りにくいというか、全てが該当すると思うんです。だから、アンケート例えば5,000名に取ったとしても、項目が全て上がってきてね。アンケートも膨大になるし、かえってその焦点が絞りにくいと思うんです。

○事務局 色んな側面からそのお伺いするということもありまして、数が多くなっているところもあるかと思います。

○B委員 質問はいいんですけどね。その内で「○」をすところを2つか3つに絞ったほうがいいと。

○事務局 いくつでもということ、どれもこれも該当してくる感じになる方もいらっしゃると思いますので数を区切らしてもらおうということも考えさせていただきます。

○B委員 それから、保護者用と市民用の大きな違いはないと思いますが、どの辺が区別されているのか。質問内容はほとんど内容変わらないと思うんですけども。

○事務局 その保護者さん用と市民さん用で内容は確かにほとんど変わりはありません。前段階ぐらいで聞かせていただいているところが変わっている程度です。

○B委員 市民用と保護者用でどこに特色を置いていらっしゃるんですか。

○会長 事務局お願いします。

○事務局 保護者用と市民用という区別をしているのは、保護者目線の意見をお聞きしたいのと、市民というか自分の子どもさんがいない家庭でも、できればその年配の方のご意見も聞きたいということで、保護者向けと市民向けという形で分けさせていただいております。

○会長 よろしいですか。

○C委員 年配の人とそれから保護者との違いをというのであれば、その市民用のところで同居のお子さまは分かりますが、同居のお孫さんっていう場合は、今は大概別居しているんで、そういう問いにはちょっと答えは違ってくるんじゃないかと思うんですが。

○会長 ありがとうございます。

事務局いかがでしょうか。ということは孫を抜く、お孫さんを抜いてもいいということですか。

○C委員 同居を抜く。

○会長 同居の家族。

どうでしょうか、事務局。

○事務局 ありがとうございます。

そこが前回の会議の中で同居している、別居している。それが紀の川市内なのか、紀の川市外なのかというようなご意見もいただいていた中で、分かりやすくできるであろうということで、同居ということを入れさせていただいた次第です。

孫さん、ひ孫さんの区別はどうするのかというご意見もその時いただいておりますので、ここには孫と書かせていただいておりますが、そのひ孫さんもここに含んでということだと思っております。ですから、同居とすることで紀の川市内の子どもさんという形に絞れるということで考えております。

以上です。

○会長 よろしいですか。

どうぞお続けください。お願いします。

○C 委員 そしたら、この同居の家族で括弧の孫を含むを抜けばひ孫まで入るんじゃないですかね。孫を含むになったらひ孫はじゃあ駄目。家族というのは同じ家に住むまあ親族、親子、兄弟色んな広い意味であるので、わざわざ孫って入れる必要はないかと思えます。

○会長 ありがとうございます。

どうでしょうか。

○事務局 ありがとうございます。

そうですね、確かに仰るとおり同居の家族とすることで、全てを含めますので、その（孫を含む）というところはもう省略させていただいて、「同居のご家族」として対象の子どもさんがいらっしゃるかという聞き方にしたいと思います。

○会長 よろしいですか。

ご指摘ありがとうございます。

他にご意見いかがでしょうか。

アンケートを作成する事務局には、やはり外からのご意見を伺うことが非常に大切だと思いますので、ご指摘の点ありましたらご発言いただけたらと思います。

お願いします。

○事務局 冒頭、B 委員さん質問されたこの複数回答の件ですけれども、我々事務局でも色々この設問内容、理由を書いてもらうという方法もあったのですが、書いてもらうとなかなか回答してもらえないであろうということで、事務局で考えられるメリット、小規模のメリット、大規模のメリットというのをここへ書いています。

それで「○」は、この集計についてクロス集計しながら、いくつ回答されても集計できると判断しています。2つに絞るか3つに絞るかというご意見もあるかも知れないので、委員さんの中で議論していただければと思います。

事務局の考えはこういうことで、複数回答は可能ということにしています。

○会長 ありがとうございます。

よろしいですか。何か。

- B 委員 今事務局から提案がありましたように皆で検討したらいいんじゃないかと。
- 会長 ありがとうございます。  
どうぞお願いします。
- C 委員 今のその複数回答っていうところで、2つとか3つとかじゃなくて、最大5つまでとかっていうふうな絞り方はどうでしょうか。
- 会長 ありがとうございます。  
どうですか、事務局。
- 事務局 ありがとうございます。  
他の委員さんのご意見もいただいて、ご提案いただけたらと思っております。
- 会長 集計にちょっと手間はかかりませんか。
- 事務局 そこは今の時点でいくつでも良いとさせていただいているので大丈夫です。  
一度ご議論いただければと思います。
- 会長 いかがですか。よろしいですか。  
(発言するものなし)
- 会長 ありがとうございます。  
他にいかがでしょうか。よろしいですか。  
(発言するものなし)
- 会長 そうしましたら、今ご指摘いただいた点、事務局で再度調整を行いまして、一つとして3月末にもう1回このようなアンケート案を提示させていただく会議を開くか、あるいは、事務局と私、それからご発言いただいた方との間で調整いたしまして、アンケート案を郵送等でお送りしますので、ご確認いただいて最終確認をお願いするということのどちらかで進めさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。  
この年度末のお忙しい時にお集まりいただくのも大変ですので、書面を郵送でお送りし、ご意見をいただいて私と事務局で検討するという方向でご異議いかがでしょうか。  
是非とも集まりたいということであればおっしゃっていただきましたら結構ですが、お任せいただけますか。  
そうしましたら、事務局でただ今のご発言につきましては、適切に対応してまた確認していただくように、最大限の努力をいたしますのでよろしくお願い申し上げます。  
ありがとうございました。  
では、郵送にて確認ということで、ご同意いただいたものとさせていただきます。  
じゃあ次、このアンケートのタイムスケジュールについて事務局お願いします。
- 事務局 そうしましたら、先程いただきましたご意見等修正し、早急に皆様方に確認していただけるように郵送させていただきます。  
そこで最終のご承認をいただきましたところで、このアンケート案を5月末頃までに印刷や郵送の準備を行い、保護者の方、市民の皆様方に配布してアンケートを実施してまいりたいと考えております。

その後、回収を6月中、そして分析を行いまして、また皆様方にその結果等をお諮りしたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○会長　　今のような日程で皆様方にもアンケート行くとおもいますが、是非よろしくご協力お願い申し上げます。

　　お願いします。

○B 委員　アンケートの5,000名の方に送られるということですが、どのような年代別、男女別、職業別は先程あまり問わないと仰ってましたけれども、対象の方向はどのように決めていますか。

　　ランダムにやるにしても、ある程度紀の川市全体で6万2,000名おられるわけですから、どの方に送るかによってデータのばらつき、正しい方向が返ってくるかどうか分からないと思うんですよ。その辺はどのように考えてますか。

○会長　　お願いします。

○事務局　　その5,500名ですが、まず小学校と保育所とか幼稚園に通われている子供さんにつきましては、その学校やそれぞれの園を通じて保護者の方にお配りしたいと考えております。

　　市民の方ですが、20代から10歳刻みで50代まで各300名、60代以降で300名を抽出させていただいて、合計1,500名の方にお送りします。

　　以上です。

○会長　　よろしいですか。

　　ご指摘ありがとうございました。

　　他にご意見いかがでしょうか。アンケートに関しまして。

　　(発言するものなし)

○会長　　よろしいですか。

　　そうしましたら、先程申した形で事務局のほうで進めさせていただきます。

　　日程は今申しましたような形で発送します。

---

## ◎その他

○会長　　ご意見無いようですので、議題(3)のその他についてです。

　　今日の会議あるいは今後の方針等につきまして、その後のご意見いかがですか。

　　ありがとうございます。

　　(発言するものなし)

　　事務局から何かありますか。

　　お願いします。

○事務局 事務局から一言お願いします。

前回の委員会で委員の皆さんには、任期は委嘱の日から答申までということで承諾をいただき誠にありがとうございました。よろしくお願いします。

コロナ禍がまだまだ危惧されますが、どうか引き続き本委員会での検討をお願いしたく、紀の川市の子供たちのためによりしくお願い申し上げます。

○会長 ありがとうございました。

大変ですけれどもお互い協力しあって、紀の川市の子供たちにより良い教育環境を提供するように、皆様方にご協力いただきたいと思います。

では、次事務局からお願いします。

○事務局 先程もちよつと説明させていただきましたが、本日の検討委員会の内容を踏まえ、完成版のアンケートができしだい委員の皆様にも最終確認をお願いしたいと考えております。そして、ご了承いただきましたら配布の準備等進めてまいります。

次回の検討委員会の開催につきましては、ある程度分析ができました時点で委員の皆様にご連絡をさせていただきたいと考えてございます。恐らく7月ぐらいになる予定でございます。

○会長 ありがとうございました。

では、そういう日程で進めさせていただきます。

次回検討会はアンケートのある程度のデータが出てからということで、皆様方にご相談申し上げることになります。

---

## ◎閉会

○会長 では、これで今日の会議ちよつと早いですが閉会になります。

本来でしたらここで副会長からご挨拶をいただくのですが、今日ちよつと他のご用務があったようで事務局にお返しいたします。

よろしくお願いします。

○事務局 会長、議事進行ありがとうございました。

委員皆様におかれましてはお疲れのところどうもありがとうございました。

先程も事務局から次回のことについてお願いしましたが、だいたい7月中を目処に分析を終了し、また委員の皆様にご参集いただいて、第4回の適正規模適正配置の検討委員会を開催したいと思いますのでよろしくお願いします。

また、開催通知につきましてはまた2週間前を目処にご案内しますので、調整の程、よろしくお願ひいたします。

これをもちまして第3回紀の川市立学校適正規模適正配置検討委員会を閉会します。

本日はどうもありがとうございました。